



# AMX-77 もじり織のリバーシブルストール

デザイナー / 岡本啓子 製作 / 木戸典子

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 (リッチモア手あみ糸)	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
エカテリーナ	No.4	①(青緑系)	1.5玉
	No.1	②(白茶系)	1.2玉

●使用ヘドル…40羽 (40本/10cm)

●その他の道具…予備のシャトル1本

●ヨコ糸密度…△部分：8段/9.5cm

●織り上がり寸法…長さ119cm、幅20cm (フサの長さ含まず)

●作り方

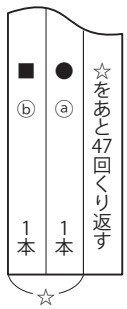
1 タテ糸を配色どおり張る。

タテ糸の本数…①48本、②48本 (合計96本)

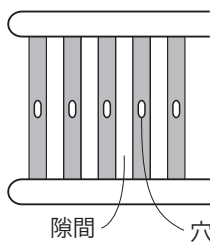
ヘドル通し幅…24cm

タテ糸の長さ…200cm

〈タテ糸配色〉 ● … ヘドル穴部分  
■ … ヘドル隙間部分

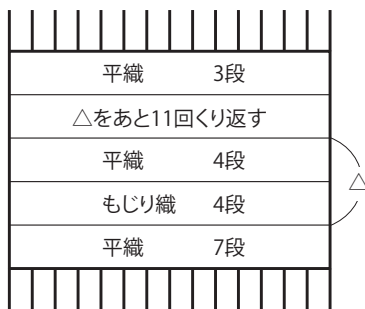


〈ヘドル名称〉



2 ヨコ糸を①で1段めはダウンポジションで右側から糸を入れて織り始める。

〈ヨコ糸配色〉



表記の寸法は織り上がり寸法です。

織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。織り機からははずすと約10%織り地が縮みます。

織るときは縮み分を考慮し、

打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。

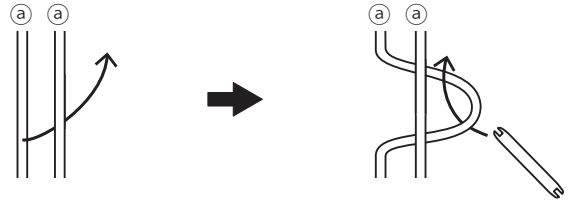
※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

〈もじり織の織り方〉

1段め

①ヘドルをアップポジションに置く。

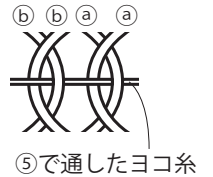
②ヘドル穴の①を2本1組とし、③矢印の位置に予備の左側の1本を、右側の1本のシャトルを通す。下を通して上に持ち上げる。(間にある②1本はとばして作業する)



④ヘドル隙間の②を2本1組で②③と同じ要領でもじる。端まで①どうしと②どうしをそれぞれ交互にくり返す。

⑤ヘドルをレストポジションに置き、通したシャトルを起こす。すき間にヨコ糸を左側から通す。

⑥シャトルを利用して打ち込む。



2段め

⑦ヘドルをアップポジションに置く。

⑧右端のみ①3本1組、②3本1組で、それぞれ2本と1本でもじる。残りは同じ色どうし2本1組でもじり、左端のみ①②各1本の2本1組でもじる。

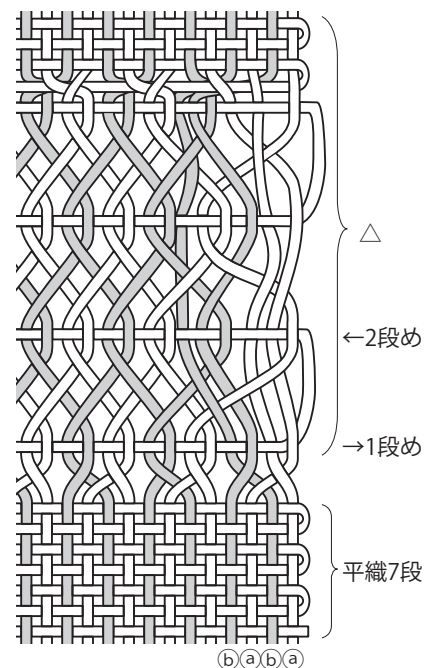
⑨通したシャトルを起こし、隙間にヨコ糸を右側から通す。

⑩シャトルを利用して打ち込む。

3・4段め

⑪①～⑩をもう1回くり返す。

〈もじり織デザイン図〉



3 タテ糸の両端（耳部分）で長く糸が渡っているところは耳がきれいにそろうように数本束ねて手縫い糸でまっつておく。

4 フサを始末する。

① 3本1組にして  
きつくより合  
わせる



② 逆方向に2組  
より合わせる



③ 先端を結ぶ

